

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山少年自然の家	所管課	福祉保健部児童家庭課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成48年8月9日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立愛宕山少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	児童に自然の中での集団宿泊生活を通じて、自律、共同などを体験的に学習する機会を提供し、心身ともに健やかな児童の育成に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	少年自然の家(宿泊棟)定員140人		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	山梨県立八ヶ岳少年自然の家
-------------------	---------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (計画値)
利用者数	施設利用者数	20,691	23,759	19,988	
	自主事業参加者数	504	317	374	
	利用者数合計	21,195	24,076	20,362	
	目標値	19,678	20,269	21,407	21,621
	目標値設定の考え方	平成18年度目標値の3%増を目標値と設定している。	平成19年度目標値の3%増を目標値と設定している。	平成19年度実績値の1%増を目標値と設定している。	平成21年度目標値の1%増を目標値と設定している。
	対(n-2)年度比	100.0%	113.6%	96.1%	102.0%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	3,033,000	2,789,000	2,225,000	2,817,000
	指定管理者委託料	56,165,000	56,904,000	56,904,000	57,087,000
	その他	513,000	961,000	890,000	1,318,000
	収入合計(A)	59,711,000	60,654,000	60,019,000	61,222,000
支出	人件費	28,525,000	33,491,000	33,026,000	33,388,000
	県への納付金				
	管理運営費	28,416,000	27,073,000	26,400,000	27,834,000
	(うち外部委託費)(B)	7,119,000	7,050,000	8,467,000	6,714,000
	支出合計(C)	64,060,000	67,614,000	67,893,000	61,222,000
収支差額(A-C)		-4,349,000	-6,960,000	-7,874,000	0
外部委託比率(B÷C)		11.1%	10.4%	12.5%	11.0%
利用者一人当りの経費		2,333	2,658	2,795	2,640

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:施設利用者へのアンケート、回答数:153人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間	84.0%	14.0%	2.0%	0.0%
②利用料金	84.0%	14.0%	2.0%	0.0%
③申し込み方法	84.0%	14.0%	2.0%	0.0%
④設備・備品の状況	76.0%	17.0%	7.0%	0.0%
⑤催物・事業内容	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%
⑥職員の接客態度	83.0%	17.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	80.3%	17.5%	2.2%	0.0%

利用者の意見	○親切、丁寧に対応してもらった。 ○風呂にシャンプーがない。
利用者の意見への対応	○職員への対応は親切で迅速と評判が良い。 ○部屋の冷蔵庫・電気ポット、風呂場のシャンプーは施設の性格上当初から設置していない。利用者に理解して頂くよう努めている。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	○毎日巡視を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。 ○警備・防犯対策に注意を払い、利用者の安全確保に努めた。	○適正に管理されている。引き続き業務計画書に沿って、適正な管理に努めること。
運営業務	○すべての職員が、条例、規則及び業務仕様書に基づき適切に業務が遂行できた。	○適正に管理されている。引き続き業務計画書に沿って、適正な管理に努めること。
自主事業	○愛宕山の豊かな自然に親しむ機会を提供できたと同時に多くの方に自然に対する興味・関心を持ってもらうことができた。	○「あたご山自然かんさつ会」は、20年度も参加率が悪かったため改善指導を行ったが、21年度も相変わらず低い参加率に終わった。今後は、業務内容や実施時期等を再検討し、事業の周知を図りながら、魅力ある事業を展開すること。
利用状況	延べ利用者数については、インフルエンザ流行によるキャンセルが多く、減となった。自主事業については、全体的に定員どおりの参加人数があった。	○不可抗力な要素により利用者数の大幅減を強いられることとなった。今後は、項目ごとの人数の把握を行うこと。
収支状況	○人件費は微減となったが、施設・設備の老朽化から修繕費や設備管理費が増加していることが目立つ。	○適正な経営状況といえる。引き続き業務計画書に沿って、適正な管理に努めること。
利用者満足度	○職員の対応は親切で迅速と評判が良い。	○適正に管理されている。引き続き業務計画書に沿って、適正な管理に努めること。
運営目標の達成状況	数値目標は、概ね達成している。今後は、施設の老朽化に十分配慮しつつ、利用者の安全管理の徹底を図っていくことを最優先した運営を行うこと。また、満足度調査の結果を反映した事業の改廃を積極的に行うこと。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○利用者数については、新型インフルエンザの流行によるキャンセルなどが目立ち、目標を達成することができなかった。今後も保育園等に積極的な広報活動を実施し、利用促進に努めること。 ○主催事業についても、目標を達成できなかった。参加者の要望、ニーズ等を把握し、事業内容、実施時期、募集方法を検討する中で、より魅力ある事業を展開し、参加者の増に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○参加者アンケートや参加率から既存の主催事業の見直しを行い、より魅力ある施設づくりに努めていく。 ○利用者の満足度の更なる向上のための工夫を凝らし、業務計画書に沿って適正な管理に努めていく。	

7. 管理体制(組織図)

